

VI 資 料

- 1 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（抜粋）
八重山圏域
- 2 認定及び表彰関係
- 3 新たな事業展開
- 4 その他紹介

八重山地域の伝統行事「豊年祭」
（石垣市字登野城）

VI 資料

1 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（抜粋）八重山圏域

（1）農林水産業の特徴

八重山圏域の農業について、令和2年における県全体に占める総農家数の割合が6%、耕地面積の割合が21%であり、さとうきび、水稻、オクラ、かぼちゃ等の野菜、パインアップル、マンゴー等の果樹、ヘリコニア、レッドジンジャー等の熱帯花き類、かんしょ、薬用作物等の生産、肉用牛を主とする畜産が行われている。

農業の品目別拠点産地については、かぼちゃ、オクラ、パインアップル（生食用）、ヘリコニア、レッドジンジャー、薬用作物（ボタンボウフウ）、肉用牛の11産地が拠点産地として認定されており、生産振興に取り組んでいる。

本圏域では、国営かんがい排水事業石垣島地区が着工し、既存水源（5ダム）を総合運用することで農業用水の再編を行い、新たに石垣島北部及び西部の農地への農業用水の確保をはじめ、農業用ダムを活用したかんがい施設や区画整理及び農地防風施設等各種の生産基盤の整備が展開されている。

本圏域の森林面積は約3万7千haと県全体の約35%となっており、リュウキュウマツなどの森林資源が充実している。また、適切な森林整備による防風・防潮や木材生産などの多面的な機能の発揮が期待されている。

水産業については、一本釣り漁業、潜水器漁業、パヤオ漁業、マグロはえ縄漁業等が行われており、モズクやハタ類等の養殖も生産を伸ばしている。

また、自然に恵まれ、グリーン・ツーリズム、森林ツーリズム、ブルー・ツーリズムなどの体験・滞在型観光による地域活性化が期待される地域である。

項目	数量	県対比 (%)	備考
総農家数	899戸	6.1	2020年農林業センサス (令和2年)
販売農家数	838戸	7.9	
主業農家数	332戸	9.2	
基幹的農業従事者数	994人	7.5	
耕地面積	7,628ha	21.0	耕地面積調査 (令和5年)
田	422ha	56.2	
畑	7,213ha	20.4	
林野面積	41,787ha	36.1	2020年農林業センサス (令和2年)
漁業経営体数	248経営体	9.3	2023年漁業センサス (令和5年)

（2）振興方向

ア 農 業

農業については、さとうきび、パインアップル、水稻、かんしょの生産振興を図るとともに、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー等の野菜、レッドジンジャーやヘリコニア等の花き、マンゴー等の果樹の振興を推進する。また、畜産、野菜、花き、果樹等の農林水産物のブランド化に取り組むとともに、環境への負荷低減を図るなど自然環境の保全と産業振興が両立する地域を形成する。さらに、八重山圏域のさとうきび農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援を行うとともに、含蜜糖生産については、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図る。また、かんがい施設や区画整理等の生産基盤の整備を推進するとともに、既設施設の再編・更新を図り、農業用水の有効活用等を促進する。あわせて、台風等の気象災害から農作物被害を防ぐための農業施設の整備や防風林整備等を図る。

本圏域における赤土等流出量は県全体の4分の1を占めており、特に農地からの流出が95%を占めていることから、農地を重点的に、新たな取組を含め総合的な対策を推進する。

畜産業については、子牛の拠点産地化、肥育牛のブランド化の推進、放牧地高度利用の推進等により、供給基地としての産地形成を推進するとともに、畜産の環境対策や飼料自給率の向上に努める。また、特定家畜伝染病の侵入及びまん延防止のため、関係機関連携による防疫演習や防疫資材の備蓄など危機管理体制の強化を推進する。

新規就農者の育成については、市町村等関係機関と情報共有しつつ、学習機会の提供や経営・技術指導等により支援する。農林水産業を取り巻く研究課題については、生産現場や普及指導機関等との連携を図り、課題解決と迅速な普及を推進する。

また、農山漁村地域において、豊かな自然環境や独自の伝統文化、パインアップル等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮を図る。

さらに、地域特産物の出荷コストの負担軽減等による域外出荷の拡大を図る。

(ア) さとうきび

生産性及び品質を向上させるために、優良品種の増殖・普及や適期栽培管理、株出栽培体系の推進、有機物の施用や緑肥作物の栽培、防風・防潮林の普及啓発等を図るとともに、肉用牛との複合化や葉たばこ・野菜等との輪作体系を推進していく。

また、さとうきび経営安定対策に対応した担い手を育成するため、農地所有適格法人、農作業の受託組織等生産組織を育成・強化するとともに、「さとうきび増産計画」等に基づき、生産者をはじめ、関係者が一体となった増産対策により、生産の増大に向け取り組む。

さらに、製糖工場の安定操業のため、長雨による原料確保等の対策に取り組む。

(イ) 野菜

定時・定量・定品質の安定生産を図ることを基本に、台風等の気象災害に強い栽培施設や防風・防虫等ネット栽培施設、農業用機械の導入を促進し、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー、さやいんげん等の安定生産に努めるとともに、土づくり、防風対策、販売対策の強化により生産拡大を図り、拠点産地の形成・育成を推進する。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(ウ) パインアップル

パインアップル栽培に適した酸性の国頭マージ土壌の地域では、生食用品種を中心に生産が行われおり、観光産業へも大きく貢献している。

今後とも生食用優良品種の導入及び開花処理技術の組合せによる出荷期間の拡大、農業用機械等の導入等により生産性及び商品価値の向上を図るとともに、拠点産地協議会等の育成・強化を図る。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(エ) 熱帯果樹

マンゴーについては、優良品種の導入・普及、栽培技術の向上、気候変動等に対応したハウスの導入などを図る。観光産業へも大きく貢献しているマンゴー、パパイヤ、パッションフルーツ等の生産性及び品質向上を目指し、拠点産地協議会等の育成・強化に努める。

また、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を図る。

(オ) 花き

台風等の気象災害に強い栽培施設等の整備、新技術の普及、栽培技術の高位平準化を推進し、レッドジンジャー、ヘリコニア等熱帯花き類の拠点産地として、周年安定出荷体制の確立、ブランド化の推進に努めるとともに、切り葉等の生産拡大を図り、流通・販売対策の強化を推進する。

(カ) 水稻

栽培技術及び病虫害防除技術の向上等により安定的な生産を図る。さらに、消費者ニーズに対応して環境に配慮した米づくりを推進するとともに、生産コストの低減を図り、所得の向上に努める。

(キ) 葉たばこ

生産性及び品質の向上や作業の省力化に努め、安定的な生産を図る。

(ク) かんしょ

優良品種の普及と病虫害の防除対策を強化し、生産性及び品質の向上を図り、拠点産地の体制強化・育成に努めるとともに、農業団体等と連携し、流通・販売体制の強化を推進する。

(ケ) 畜産

肉用牛については、ブランド化の推進、自給飼料基盤の整備、優良種畜の導入・育成、放牧地高度利用の推進及び飼養衛生管理技術の改善等により、供給基地としての産地形成を推進する。さらに、生産基盤強化のため畜舎の整備等を行う。

また、畜産の環境対策と地域資源の有効利用を図るため家畜排せつ物処理施設の整備を推進するとともに、耕畜連携による資源循環型農業を促進する。あわせて、地力の維持増進を図り、飼料自給率の向上に努める。

イ 森林・林業

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備、並びに森林整備事業を推進する。

また、リュウキュウマツなどの森林資源の活用を進めるとともに、森林の利用と保全の調和を図りつつ、森林環境教育等の多様な利活用を図る。

さらに、森林・林業に精通したガイドの養成等を図り、森林ツーリズムを推進する。

(フ) 林産物

リュウキュウマツ等の計画的な生産及び収穫伐採体制を確立するため、効率的な伐採技術の確立、及び流通・販売体制を強化する。

ウ 水産業

水産業については、保護区の設定等によるマチ類、フエフキダイ類、ハタ類等の近海魚介類の資源管理に努めるとともに、モズクやハタ類等のつくり育てる漁業の推進によるブランド化を図る。

また、流通加工施設等の整備により流通機能の強化を図るとともに、漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新を推進する。

さらに、良好な漁場環境の保全及び漁業秩序の維持を図るとともに、尖閣諸島周辺水域、日台漁業取決め水域及びその他広域な周辺水域において、漁業者の安全操業体制の確保に取り組む。

(エ) 海面漁業

持続的な生産活動が維持されるよう、研究機関と連携し、保護区設定等によるマチ類、フエフキダイ類、ハタ類等の資源管理を推進する。また、マグロ類やソデイカ、シャコガイ類等の生産拡大を図るため、流通・販売対策の取組を支援する。さらに、海洋保護区の設定とブルー・ツーリズムとの連携による新たな海洋・観光・水産資源の創出に向けた取組を推進する。

(イ) 海面養殖業

登野城魚類養殖場を拠点とするハタ類の魚類養殖やクルマエビ、モズク、シャコガイ類等の生産拡大を図るため、漁業者に対する技術指導や魚病防疫体制を整備するとともに、流通の機能強化を図る。

エ 周辺離島

竹富町及び与那国町の含蜜糖生産については、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図る。

西表島においては、さとうきび、パインアップル、熱帯果樹、かぼちゃ、水稻等を中心に生産の振興を図るとともに、肉用牛との経営の複合化を促進する。また、波照間島では、さとうきびを中心に肉用牛、モチキビ等を振興するとともに、小浜島では、さとうきびを中心に肉用牛等、黒島では、肉用牛の振興を図る。

与那国町については、さとうきび、水稻、肉用牛、薬用作物の生産を振興し、経営の複合化を促進する。

(重点振興品目)

【耕 種】	さとうきび、水稻、葉たばこ、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー、さやいんげん、パインアップル（生食用）、マンゴー、レッドジンジャー、ヘリコニア、切り葉、かんしょ、薬用作物類
【畜 産】	肉用牛
【林 業】	木材
【水産業】	クルマエビ、モズク、マグロ類、カジキ類、ソデイカ、ヤイトハタ、シャコガイ類、マチ類、フエフキダイ類、スジアラ、シロクラベラ、ハタ類

資料：新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（令和4年12月策定）より抜粋

2 認定及び表彰関係

(1) 「おきなわ食材の店」登録制度



沖縄県では、沖縄県産食材を積極的に活用した料理の提供を通して、県民のみなさんや観光客のみなさんに県産食材の魅力を発信していただける県内飲食店を「おきなわ食材の店」として登録しています。

八重山管内では、令和6年11月までに計40店舗が登録されています。

No.	店 名	住 所
1	美味食彩花HANA	石垣市大浜466-15 2F
2	八重山酒家 楽	石垣市大浜116-2
3	海人居酒屋 源 平得店	石垣市平得175-3
4	The BREAKFAST HOTEL PORTO石垣島	石垣市登野城86 リゾーツ琉球株式会社
5	さよこの店	石垣市登野城170番地
6	海鮮館 どてっぺん	石垣市八島町2-4
7	日本料理郷土料理ひるぎ	石垣市美崎町4-9
8	やいま家庭料理さつき	石垣市美崎町7-16
9	海人居酒屋 なつや	石垣市美崎町10-17
10	石垣牛と海鮮の店 こてっぺん	石垣市美崎町12-7
11	BAR NOBU	石垣市美崎町12-8 TOMOビル1F
12	雪塩ステーキ石垣-鉄板焼き-	石垣市美崎町13番地
13	海人居酒屋 源 美崎店	石垣市美崎町16-10
14	郷土料理 琉球の爺（おやじ）	石垣市浜崎町2-1-7
15	炭火焼肉 たけさん亭	石垣市浜崎町2-2-4
16	海人居酒屋 源 新栄店	石垣市新栄町25-5
17	石垣牛焼肉専門店 いしなぎ屋	石垣市大川43番地
18	漁師の居酒屋 一魚一会(いちぎょいちえ)	石垣市大川216 ピュアネスイシダ1F
19	石垣牛専門 焼肉金城 石垣島大川店	石垣市大川278
20	Hau tree gelato (ハウ トゥリー ジェラート)	石垣市大川281
21	海人居酒屋 源 総本店	石垣市大川286 源ビル2F
22	海人居酒屋 源 海人めし店	石垣市大川286源ビル1F
23	島料理居酒屋 あだん亭	石垣市大川430 東1F
24	焼肉中華 はるさー	石垣市大川559 アートホテル石垣島
25	うさぎや 石垣本店	石垣市石垣1-1
26	沖縄居酒屋 石垣島	石垣市石垣14-3
27	石垣牛と海鮮の店 てっぺん	石垣市石垣15-4 ワコーレKAMUJI 1F
28	石垣島ベーカリー&スペインレストラン ハイビスキャット	石垣市石垣257-3
29	Shiraho 家 Café (しらほ・いえカフェ)	石垣市白保42-3
30	和琉ダイニング みふね	石垣市新川1129-2
31	かぶさ食堂	石垣市新川418-1 コンテナハウスB
32	石垣島ミルミル本舗	石垣市新川1583-74
33	マリティーム	石垣市新川2459-1 ホテルロイヤルマリンパレス石垣島
34	旬家 ばんちゃん	石垣市白保13-1
35	石垣島ミルミル本舗 石垣空港店	石垣市白保1960-104-1 (石垣空港内)
36	MUSUHI (ムスヒ)	竹富町 字小浜島内 (キッチンカーの為固定住所無し)
37	農家民宿 マナ	竹富町 古見202
38	ペンション星の砂	竹富町 字上原289-1
39	西表シーサイドカフェ	竹富町 字上原546-3
40	ピアガーデン 国境 (ハテ)	与那国 字与那国22-4 3F

「おきなわ食材の店」登録基準

- 1 年間を通して、提供しているメニューの半数以上が地産地消メニューであること。
- 2 地産地消メニューとは、県産食材を半数以上使用したメニューであること。
- 3 使用している県産食材について、積極的に情報提供を行っていること。



おきなわ食材の店
ウェブサイト

（２）令和６年度 沖縄県農業機械士功労者表彰受賞

令和6年6月14日に令和6年度沖縄県農業機械士協議会通常総会が那覇市で開催され、當銘悟氏（石垣市名蔵）が沖縄県農業機械士協議会功労者表彰を受賞した。

當銘氏は、平成5年に沖縄県農業機械士の認定を受け、同年に八重山地区農業機械士協議会へ加入。同協議会の役員を平成22年から7年間務め、組織の運営および事業の推進に尽力してきた。また、機械士会の若手に対して機械の整備、管理の工夫等の技術を伝えるとともに、技能向上研修等では自身の機械を提供し、研修運営にも協力する等、長年にわたり八重山地区農業機械士会員として地域の農業機械化促進および農作業安全の推進に寄与してきた。これらの功績が高く評価され、今回の表彰に至った。



當銘悟氏への伝達表彰（右から２人目）、左から２人目は八重山地区農業機械士協議会の當銘幸洋会長

（３）第48回沖縄県さとうきび競作会表彰

第48回沖縄県さとうきび競作会において、八重山郡内からは3農家が表彰された。

農家の部で県3位となった盛山泰克氏（石垣市宮良）はセルトレイ栽培の一芽苗を利用した補植やこまめなかん水等、栽培に工夫を重ね、春植えて単収9t、甘藷糖度13.8度を記録し、沖縄県知事賞を受賞した。

多量生産の部（農家の部）で沖縄県農林水産部長賞を受賞した上原政文氏（石垣市大川）は、トラクタやハーベスタ、ビレットプラント等を保有し植付から収穫まで機械化一貫体系を確立している。また株出し栽培では赤土流出防止のため中耕を少なくし作業工程低減にも取り組んでいる。今期は581tを生産し、県第2位に輝いた。

特別優良事例の部で受賞した池原吉剋氏（石垣市新川）は、さとうきび栽培に取り組んで50年余、自身の圃場だけでなく近隣農家の作業受託にも早くから取り組み、さとうきび生産の機械化・省力化を推進した。また赤土流失防止対策を積極的に行い、環境保全の取り組みでも地域の模範となっている。地域農業を支える様々な組織の役員を務め、糖業振興に尽力してきた功績が認められ、沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞した。



盛山泰克氏（前列右から２番目）、上原政文氏（前列左から２番目）、池原吉剋氏（前列右から１番目）

（４）島ふ〜どG P ぼーのファーム「いのちのビーフジャーキー」最優秀賞

おきなわ花と食のフェスティバル2025内で「2025おきなわ島ふ〜どグランプリ」が開催され、ぼーのファーム（みやら牧場株式会社）の「牛飼いい仕込み いのちのビーフジャーキー」が最優秀賞を受賞した。当イベントは、流通・加工推進課所管「地域農林水産物活用支援事業」でブラッシュアップされた6次産業化商品から、バイヤーを含む審査員の審査と一般消費者の投票によりグランプリが決定される。

みやら牧場株式会社は黒毛和牛150頭を飼育する繁殖農家で、牧草も自家栽培にこだわっている。令和5年12月に加工所兼自社店舗「ぼーのファーム」として開業し、流通・加工推進課所管事業「6次産業化スタートアップ事業」「地域農林水産物活用支援事業」を通して経産牛商品の開発に2年間取り組んだ。今回最優秀賞を獲得した「牛飼いい仕込み いのちのビーフジャーキー」は自家産経産牛のモモ肉を使ったビーフジャーキー。石垣島産の塩のみで味付けし、乾燥具合を調節してソフトな食感に仕上げしており、牛肉本来の旨みと風味が味わえる一品となっている。添加物不使用、肉と塩だけしか使わない事にこだわる等、6次産業化の取組の中でも付加価値の高い商品に仕上がっていることが評価された。



（５）第18回沖縄県防災農業賞 受賞

令和6年度「防風林の日」関連行事として開催された「第18回沖縄県防災農業賞」の表彰式が与那国町構造改善センターで行われ、個人の部で農業生産法人与那国薬草園株式会社（代表取締役：杉本和信）、根本長亮氏が受賞した。

農業生産法人与那国薬草園株式会社は長命草、ウコン等の薬用植物を中心に栽培しており、ほ場の周辺にオオギバショウを植栽し、定期的に整枝・剪定を実施することで台風被害を軽減できており、本地域の模範的モデルとなっている。根本氏は町内にてサトウキビ等を栽培しており、ほ場周辺にクロキ等を植林している。また、八重山森林組合と協力し、フクギ等の苗を育苗し、苗木を配布するなど地域の防風林の普及に取り組んでいる。両者とも、防風・防潮林等の整備等を積極的に推進し、他の模範となる取組であり、防風・防潮林整備の重要性の啓発ならびに全県的な防災農業確立のための取り組みの拡大に寄与しようとするものであることが評価された。



根本長亮氏（左）、の杉本和信氏（右）

（6）令和6年度青年農業者会議 プロジェクト発表最優秀賞 受賞

11月8日に那覇市の沖縄県男女共同参画センターで開かれた「令和6年度沖縄県青年農業者会議」のプロジェクト発表の部において、八重山地区代表として発表した西表島農業青年クラブの池村一輝氏が最優秀賞を獲得した。

池村氏は「資源が循環し、産業が繋がる西表島」と題して発表。西表島では生ゴミが回収されないことが長年の課題となっており、西表島農業青年クラブの島内資源循環に興味のある有志が「(株)西表でしか」を設立し、生ゴミBox製作・普及、堆肥化に取り組んだ内容となっている。住民や産官学を巻き込んでいる点や、島内の資源循環を可能にし、今後の継続の大きな期待の持てる発表だったことが評価された。

池村氏は、令和7年度熊本県で開催される九州・沖縄地区青年農業者会議へ沖縄県代表として出場する。



池村一輝氏の舞台発表



受賞者で記念撮影
(池村氏は、前列右から2番目)

（7）令和6年度第38回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会 小波本牧場が最優秀賞受賞

令和6年4月26日に、八重山食肉センターにて第38回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会が開催され、小波本牧場が最優秀賞を受賞した。当受賞枝肉は、脂肪交雑、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪厚、歩留基準値に優れた枝肉と評価され、枝肉単価3,300円で取引された。

全体的な講評としては、A-5等級率が94.7%、平均枝重489.8kg、平均BMSNo.が10と非常にレベルの高い共励会であった。

褒賞	出品者	格付	性別	血統				月齢	枝肉重量	ロース面積	バラ厚さ	皮下脂肪	歩留	BMS	MU FA
				1代祖	2代祖	3代祖	4代祖								
最優秀賞	小波本牧場	A5	去勢	美百合	安福久	勝忠平	若茂勝	30.4	530.0	90	10.1	1.6	79.8	12	55.9
優秀賞	(有)サンニ産業	A5	去勢	美百合	北福波	福栄	第2平茂勝	32.9	511.5	70	9.1	2.5	75.9	11	65.6
優良賞	(有)南川牧場	A5	去勢	貴隼桜	美津照重	茂勝栄	美津福	28.5	562.0	81	8.8	2.2	76.8	11	66.8
出品牛全頭平均								29.7	489.8	69.4	8.1	2.4	71.8	10	64.3



（8）令和6年度第39回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会 八重山アップミートが最優秀賞受賞

令和6年11月22日に、八重山食肉センターにて第39回JA石垣牛肥育部会枝肉共励会が開催され、八重山アップミートが最優秀賞を受賞した。当受賞枝肉は、ロース芯の脂肪交雑が細かく入り、枝肉重量が486.5kgと重量の面でも高く評価され、枝肉単価3,300円で取引された。

全体的な講評としては5等級率が75%と素晴らしく、ロース芯・バラ厚ともに迫力のある枝肉が散見された。肉質は全般に光沢がよく、見た目がおいしそうに見える枝肉が多く見受けられた。

褒賞	出品者	格付	性別	血統				月齢	枝肉重量	ロース面積	バラ厚さ	皮下脂肪	歩留	BMS	MU FA
				1代祖	2代祖	3代祖	4代祖								
最優秀賞	八重山アップミート	A5	去勢	福之姫	安福久	勝忠平	紋次郎	28.8	486.5	68	8.9	2.1	76	12	59.8
優秀賞	ヤイマ・フリーダー・ランチ	A5	去勢	美国桜	安福久	平茂勝	北国7の3	30.1	509.5	79	8.7	1.8	78	12	59.2
優良賞	八重山肥育センター	A5	去勢	茂北福	百合白清2	勝忠平	第5集福	33.1	574.5	72	9.6	1.9	76	12	65.6
脂肪質賞	ヤイマ・フリーダー・ランチ	A5	去勢	福之姫	華春福	百合茂	宝政	30.5	589.0	61	9.4	4.1	73	11	68.3
出品牛全頭平均								30.5	497.7	65.4	8.3	2.6	74.9	9.7	62.0

